

2011年3月期 第1四半期決算説明会

2010年8月10日(火)

日本ハム株式会社

目 次

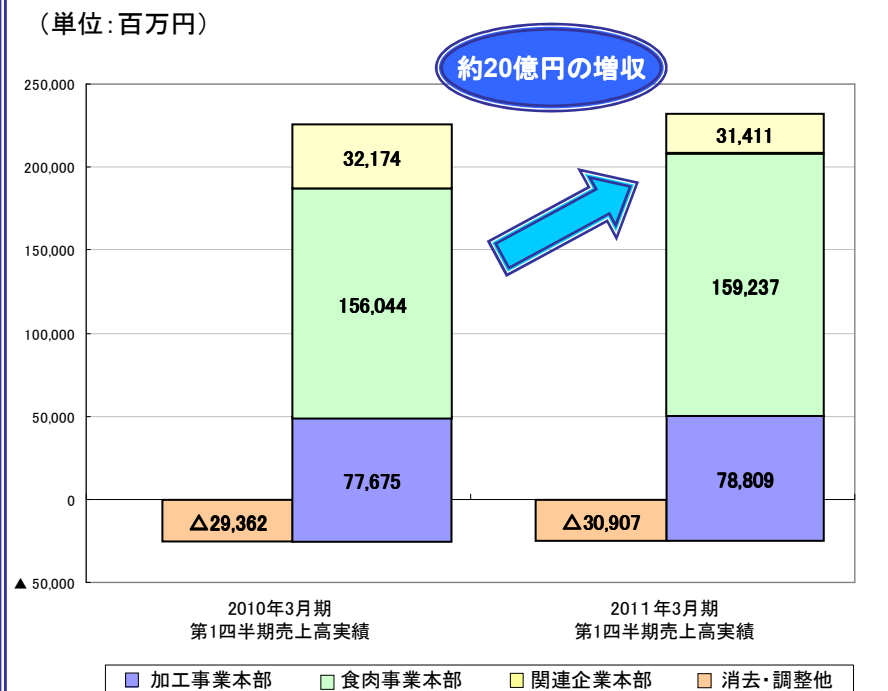
1. 2011年3月期 第1四半期連結業績の総括
2. 2011年3月期の見通し
3. 2011年3月期 第1四半期財務データ

2011年3月期 第1四半期連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第1四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
3. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
5. 海外 主要地域別業績実績

◆オペレーティング・セグメント情報【2011年3月期第1四半期】

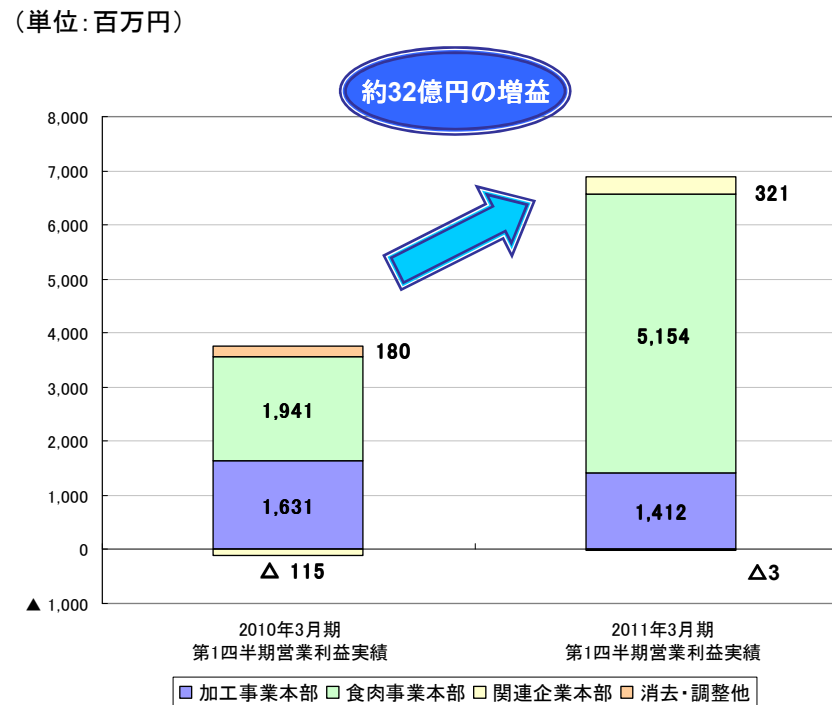
【売上高】



(単位:百万円・%)

	2010年3月期 第1四半期売上高実績	2011年3月期 第1四半期売上高実績	前年比
加工事業本部	77,675	78,809	1.5
食肉事業本部	156,044	159,237	2.0
関連企業本部	32,174	31,411	△ 2.4
消去・調整他	△ 29,362	△ 30,907	-
連結合計	236,531	238,550	0.9

【営業利益】



(単位:百万円)

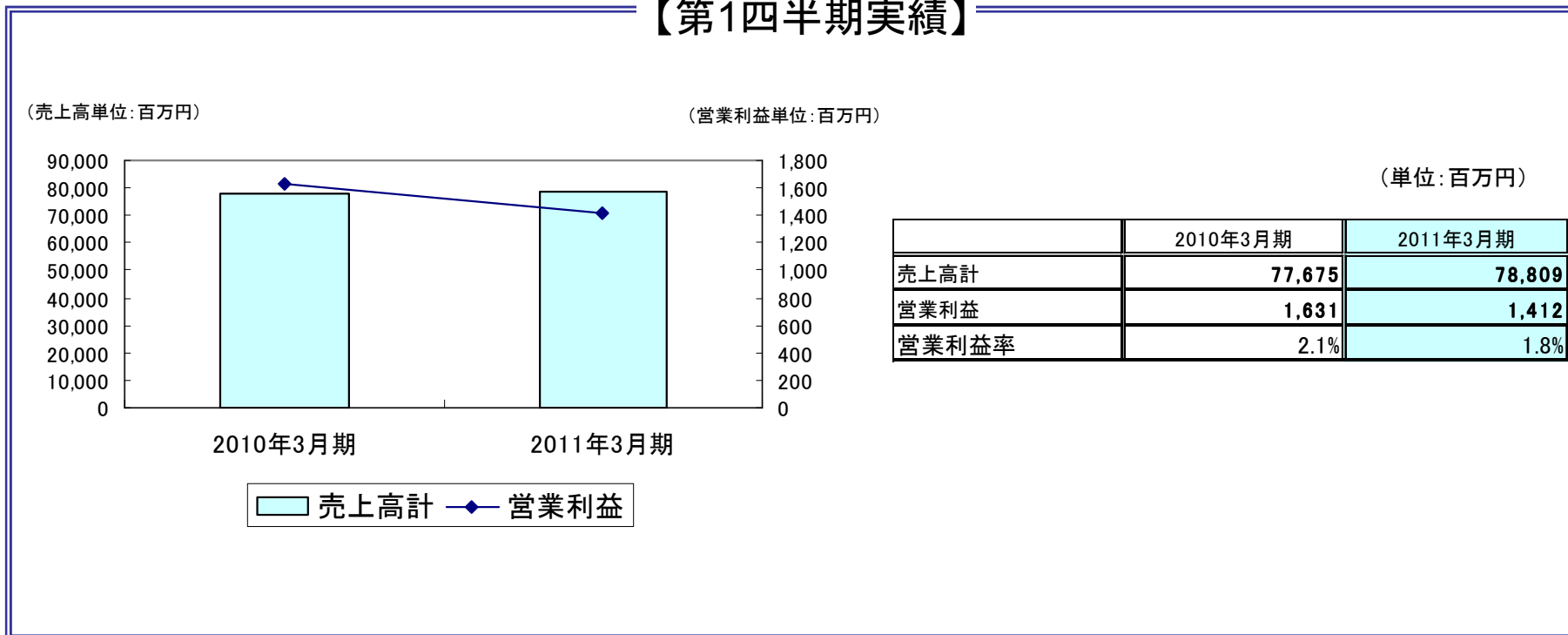
	2010年3月期 第1四半期営業利益実績	2011年3月期 第1四半期営業利益実績	前年差
加工事業本部	1,631	1,412	△ 219
食肉事業本部	1,941	5,154	3,213
関連企業本部	△ 115	321	436
消去・調整他	180	△ 3	△ 183
連結合計	3,637	6,884	3,247

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.15の品種別の売上高の数値は一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

【加工事業本部】

【第1四半期実績】



【第1四半期の状況】

- ・売上高は、ハム・ソーセージ、加工食品とも販売数量が伸長したこと等により、対前年同期比1.5%の増収。
- ・営業利益は、販売競争の激化に伴う販売価格低下等により、対前年同期差約2億円の減益。

【加工事業本部 営業利益増減要因イメージ】

●2011年3月期第1四半期の利益増減イメージ

【原料・資材価格の営業利益への影響額】

⇒対前年同期差約12億円のプラス要因

【加工事業本部トータルでの増減額】

⇒対前年同期差約2億円の減益

【加工事業本部 営業利益増減要因分析イメージ】

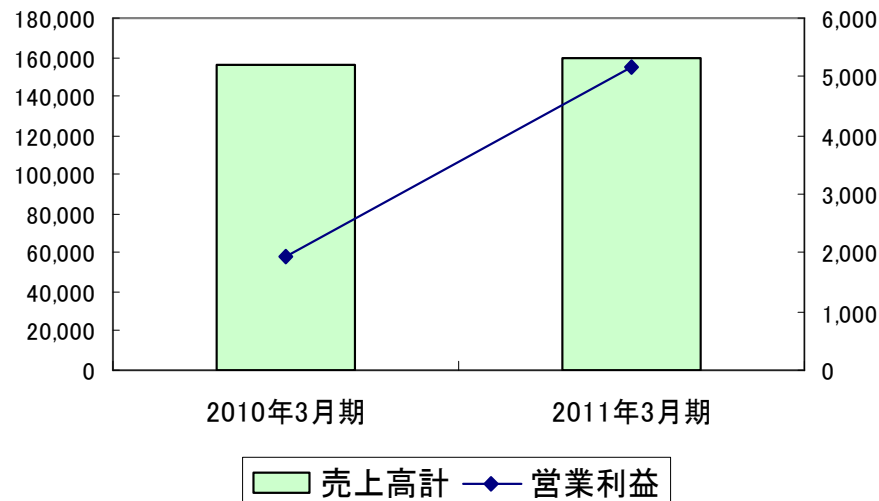
	2011年3月期 第1四半期実績
主原料・副資材価格要因合計	12億円
(内訳)主原料価格縮小額	9億円
(内訳)資材価格・物流費等縮小額	3億円
コストダウン要因合計	10億円
製造・営業部門等の改善活動効果額	7億円
売上等による効果額	3億円
コストアップ要因合計	△24億円
SCM費用効果額	△7億円
その他販促キャンペーン等費用額	△17億円
合計	△2億円

【食肉事業本部】

【第1四半期実績】

(売上高単位:百万円)

(営業利益単位:百万円)



(単位:百万円)

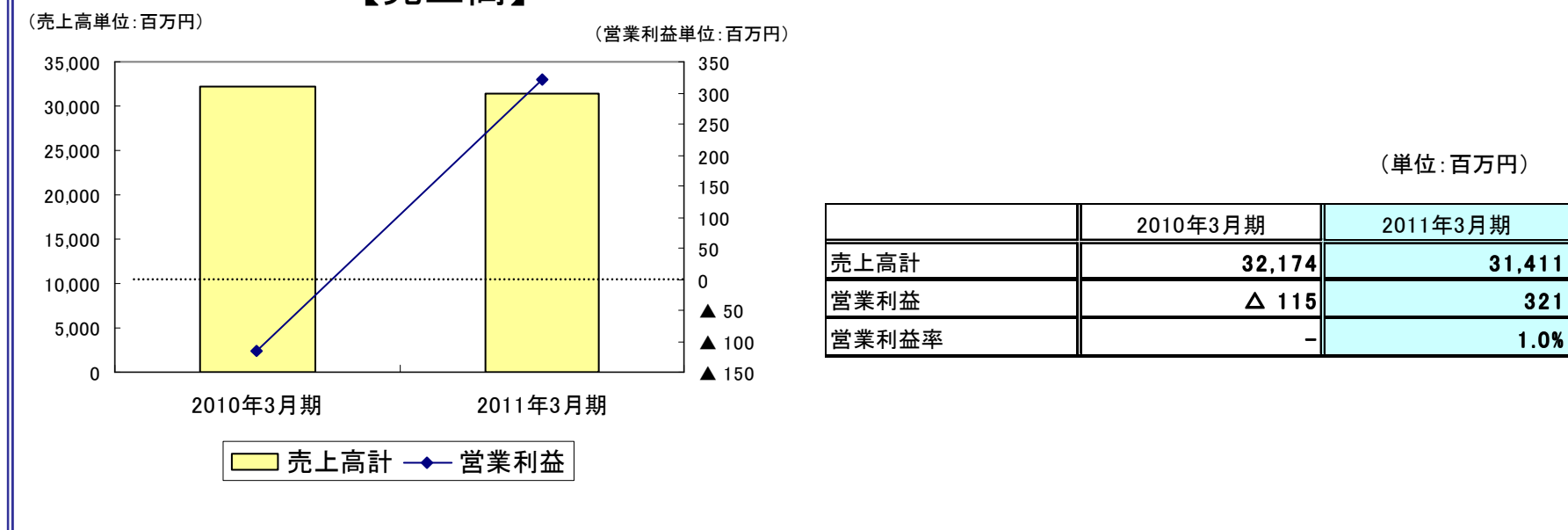
	2010年3月期	2011年3月期
売上高計	156,044	159,237
営業利益	1,941	5,154
営業利益率	1.2%	3.2%

【第1四半期の状況】

- ・売上高は、主に販売数量の増加により、対前年同期比2.0%の増収。
- ・営業利益は、川上事業の回復と販売数量増等により、対前年同期差32億円の増益。

【関連企業本部】

【売上高】 【第1四半期実績】



【第1四半期の状況】

- ・売上高は、水産物や乳製品の数量減少等により、対前年同期比△2.4%の減収。
- ・営業利益は、水産物の量販店チャネルでの販売数量増と、乳製品(チーズ)の販売単価上昇等により、対前年同期差約4億円の増益。

《参考～主な関連会社の状況～》

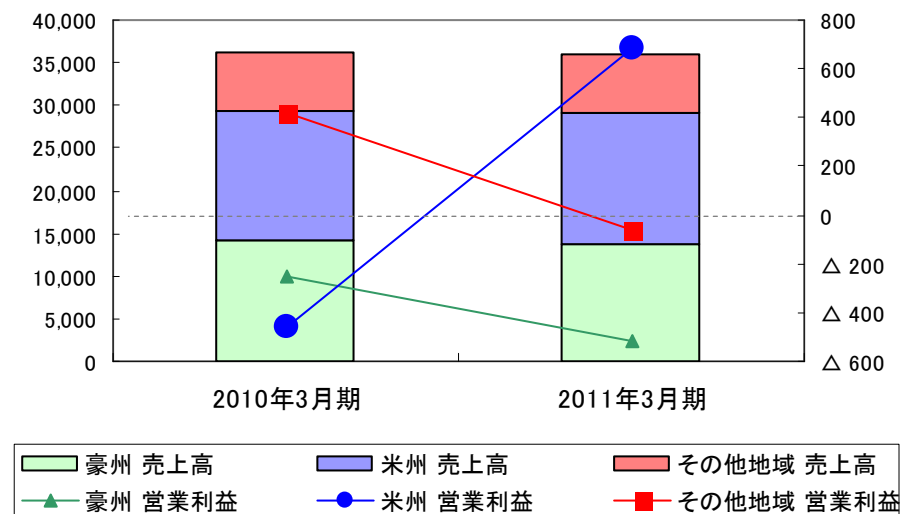
	状況
マリンフーズ	売上高は前年を下回ったが、利益は改善した。
宝幸	売上高はほぼ前年並みで、利益は改善した。
日本ルナ	売上高、利益ともに前年を下回った。

【海外事業】

【第1四半期実績】

(売上高単位:百万円)

(営業利益単位:百万円)



(単位:百万円)

		2010年3月期 第1Q実績	2011年3月期 第1Q実績	前年差	増減率
海外計	売上高	35,438	35,209	△ 229	△ 0.6
	営業利益	△ 280	87	367	-
豪州	売上高	14,085	13,697	△ 388	△ 2.8
	営業利益	△ 248	△ 521	△ 273	-
米州	売上高	15,305	15,498	193	1.3
	営業利益	△ 458	684	1,142	-
その他地域	売上高	6,921	6,823	△ 98	△ 1.4
	営業利益	418	△ 65	△ 483	-

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません。)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他海外は、アジア、欧州となっております。

【第1四半期の状況】

- ・売上高は、米州が増収、豪州・その他地域が減収となり、海外トータルではほぼ前年並みとなった。
- ・営業利益は、米国の豚生体価格上昇の効果により、対前年同期差約4億円の増益。

2011年3月期の見通し

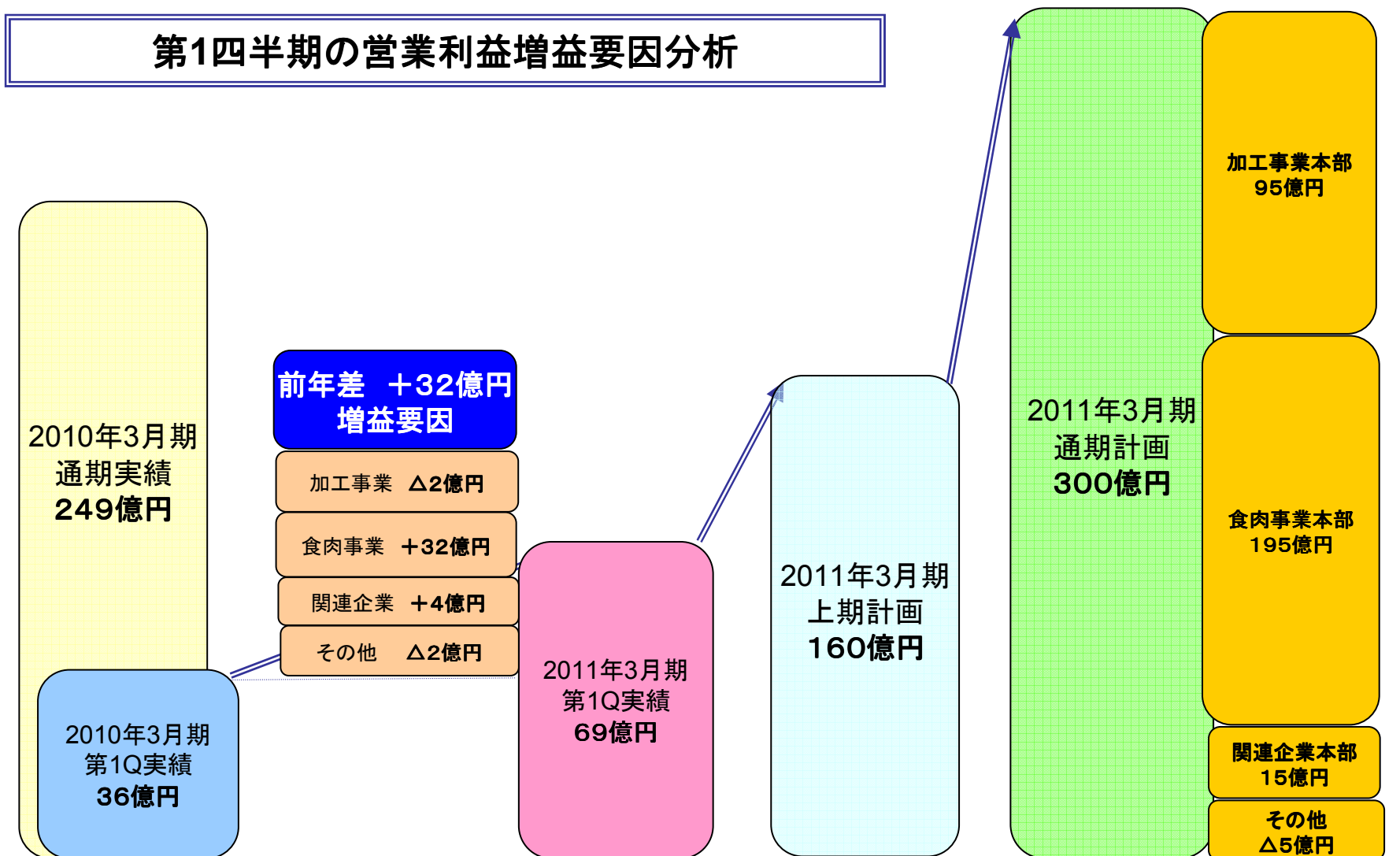
1.2011年3月期 事業セグメント別営業利益計画イメージ

2.加工事業本部の見通し

3.食肉事業本部の見通し

4.関連企業本部の見通し

第1四半期の営業利益増益要因分析



	第1Q	上期計	下期計	通期
2010年3月期実績	36億円	88億円	161億円	249億円
2011年3月期計画及び実績	69億円	160億円	140億円	300億円
対前年差	+32億円	+72億円	Δ21億円	+51億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます。

【加工事業本部 売上拡大施策】

●中元ギフトの計画

【中元ギフト販売個数 2010年3月期実績と2011年3月期計画】

(単位:千個・%)

	2010年3月期実績	2011年3月期計画	前年比
中元ギフト販売個数	1,926	2,110	110%

- ・旗艦ブランドの「美ノ国」は、7月末時点で個数ベースで前年同日比約180%と好調に推移。
- ・中元ギフトトータルでは、個数ベースで前年並みで推移。

●主要ブランド・新商品の状況

【(参考)2011年3月期第1四半期 主要ブランド商品売上高前年比】

シャウエッセン群	100%	中華名菜群	111%
森の薫りウィンナー	93%	石窯工房群	102%
ロースハム群	90%	プリフライ群	97%
ベーコン群	95%	ハンバーグ・ミートボール群	92%

●売上拡大施策

①ハム・ソーセージ

- ・シャウエッセンのブランドキャンペーンを継続。
- ・シャウエッセン以外のウィンナーの拡販。
- ・ロースハム、ベーコン等の単味品の拡販。

②加工食品

- ・重点ブランド商品の販売強化。
- ・秋以降の鍋物等、季節需要商品の納店率向上。
- ・「特蒸焼売」を中心とした新商品の拡販。

●チャネル別の状況

【(参考)2011年3月期第1四半期 チャネル別売上金額伸び率】

	コンシューマ	業務用	計
ハム・ソーセージ	96%	98%	97%
デリ商品	102%	118%	109%

●売上拡大施策

- ・ハム・ソーセージは、前年の内食回帰の反動もあるが、引き続きコンシューマの拡販を図る。
- ・デリ商品は、引き続き「販売数量の拡大」に重点を置き、業務用のみならずコンシューマでも拡販を図る。

【食肉事業本部 市場環境見通し】

●海外事業の現状

◆豪州事業の現状

⇒世界的な牛肉需要の減退と相場下落により、牛肉事業は厳しい状況が続く。皮革事業は工場の集約効果もあり改善。

◆米州事業の現状

⇒米国内の需給バランスが整い始め、豚生体相場も回復傾向。

●海外事業の見通し

◆豪州事業の見通し

⇒牛肉事業は引き続きコスト削減に取り組んでいるが、生体牛の減少による仕入れ価格の上昇や、豪ドル為替上昇の影響で、輸出価格は厳しい状況が続く見込み。

◆米州事業の見通し

⇒養豚事業は豚生体相場の回復と、生産コスト削減効果が出ているが、下期以降の生体相場は景気動向もあり不透明。

●国内生産事業の現状

◆飼料価格の現状

⇒前期より穀物相場は安定的に推移。

◆国内ファーム事業の現状

⇒鶏肉は、需要の増加もあり、堅調に推移。豚肉は季節要因もあり、相場が回復。

●国内生産事業の見通し

◆飼料価格の見通し

⇒引き続き穀物相場は安定すると見込む。

◆国内ファーム事業の見通し

⇒鶏肉は、生産コストの改善と出荷羽数の増加で改善。豚肉は、需要の回復と海外豚肉相場の上昇に伴い、国内枝肉相場も、前年同期比で回復を予測。合わせて、生産コスト削減効果による改善を見込む。

●販売会社の現状

⇒主要量販店をはじめとする顧客への積極的な拡販で販売数量を拡大した。

⇒消費が伸び悩む中、販売価格の下落や、競争の激化により、利益面では厳しい環境が続いた。

●販売会社の見通し

⇒引き続き、量販店、外食店を中心に販売数量を拡大し、シェアアップと利益確保を目指す。

⇒インテグレーションを活かした付加価値、競争力のある自社ブランド商品の開発と販売を強化する。

●水産事業の現状

- ・量販店チャンネルは、拡販の効果により売上金額は増加。外食チャンネルは、価格競争の激化により、売上金額は減少。

【(参考情報)11年3月期通期 マリンフーズ(株)チャンネル別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
量販店チャンネル	109%	104%
外食チャンネル	93%	87%

●今後の方針

- ・量販店チャンネルでの拡販を継続。
- ・三重工場にて新商品の開発力を強化。付加価値の高い商品と得意先の専用商品を拡販し、収益の改善を図る。

●乳製品事業の現状

- ・チーズは、外食チャンネルが伸び悩んだが、製パンチャンネルの伸長等で補い、売上金額は前年並みで着地。
- ・ヨーグルトは、競争激化により厳しい状況。

【11年3月期第1四半期 商品別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
チーズ	100%	100%
ヨーグルト	90%	88%

●今後の方針

- ・チーズは、主力チャンネルである製パン・外食チャンネルでの販売を強化。
- ・ヨーグルトは、量販店チャンネルには主力の「バニラヨーグルト」を、コンビニエンスチャンネルには新商品・リニューアル商品を投入し、販売数量を拡大。

●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズは、今年に入って輸入原料の価格が上昇したが、4月に価格改定を実施して対応。
- ・ヨーグルト原料については、国産、輸入品とも安定。

●今後の見通し

- ・下期以降は、安定的に推移する見込み。
- ・ヨーグルトについては、国産粉乳は引き続き安定的に推移、海外産粉乳はやや上昇する見通し。

2011年3月期 第1四半期財務データ

1. 2011年3月期第1四半期連結業績概要

2. 2011年3月期 連結売上区分伸び率

2011年3月期第1四半期連結業績概要《所在地別セグメント状況》

3. 販管費・その他収益・その他費用

4. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費

2011年3月期第1四半期連結業績概要

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2010年3月期実績			2011年3月期実績及び計画					
	第1Q 実績	上期 累計実績	通期 累計実績	第1Q 実績	前年比	上期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
売上高	236,531	474,973	953,616	238,550	0.9	495,000	4.2	1,000,000	4.9
ハム・ソーセージ	32,017	66,636	137,549	30,775	△ 3.9	67,500	1.3	140,000	1.8
加工食品	44,586	92,655	188,870	47,602	6.8	95,000	2.5	193,000	2.2
食肉	127,890	250,498	496,100	130,564	2.1	266,500	6.4	532,000	7.2
牛肉	48,694	95,202	181,104	46,467	△ 4.6	100,000	5.0	195,000	7.7
豚肉	47,253	92,998	185,733	49,131	4.0	99,000	6.5	201,000	8.2
鶏肉	26,254	50,229	105,769	29,199	11.2	54,500	8.5	111,000	4.9
その他食肉	5,689	12,069	23,494	5,767	1.4	13,000	7.7	25,000	6.4
水産	19,383	39,908	82,570	18,780	△ 3.1	41,000	2.7	84,000	1.7
乳製品	5,661	11,344	21,985	5,330	△ 5.8	11,000	△ 3.0	23,000	4.6
その他	6,994	13,932	26,542	5,499	△ 21.4	14,000	0.5	28,000	5.5
売上原価	190,525	380,453	754,992	190,888	0.2				
売上総利益	46,006	94,520	198,624	47,662	3.6				
売上総利益率	19.5%	19.9%	20.8%	20.0%	-				
販売費及び一般管理費	42,369	85,764	173,769	40,778	△ 3.8				
営業利益	3,637	8,756	24,855	6,884	89.3	16,000	82.7	30,000	20.7
税引前利益	4,953	8,520	24,024	5,061	2.2	14,000	64.3	26,000	8.2
当期純利益	3,161	5,405	15,721	3,276	3.6	7,500	38.8	14,000	△ 10.9

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

2011年3月期第1四半期連結業績概要《連結売上区分別伸率、所在地別セグメント状況》

【連結売上区分別伸び率】

品 種	2011年3月期 連結第1四半期実績伸び率	
	数 量	金 額
ハム・ソーセージ	1.4%	△3.9%
加工食品	13.1%	6.8%
食肉	3.7%	2.1%
牛肉	△2.8%	△4.6%
豚肉	3.5%	4.0%
鶏肉	10.3%	11.2%
その他食肉	△0.9%	1.4%

【所在地別セグメント状況】

(単位: 百万円、%)

《連結業績》	2010年3月期実績			2011年3月期実績及び計画					
	第1Q 実績	上期 累計実績	通期 累計実績	第1Q 実績	前年比	上期 累計計画	前年比	通期 累計計画	前年比
《所在地別セグメント情報》									
国内売上高	219,982	442,465	893,363	222,024	0.9	461,800	4.4	936,000	4.8
外部顧客売上高	219,886	442,215	892,872	221,863	0.9	461,500	4.4	935,000	4.7
セグメント間内部売	96	250	491	161	67.7	300	20.0	1,000	103.7
国内営業利益	4,014	9,487	23,123	6,156	53.4	15,300	61.3	28,100	21.5
国内売上高営業利益率	1.8%	2.1%	2.6%	2.8%	-	3.3%	-	3.0%	-
海外売上高	35,438	72,168	138,660	35,209	△ 0.6	73,500	1.8	145,000	4.6
外部顧客売上高	16,645	32,758	60,744	16,687	0.3	33,500	2.3	65,000	7.0
セグメント間内部売	18,793	39,410	77,916	18,522	△ 1.4	40,000	1.5	80,000	2.7
海外営業利益	△ 280	△ 448	2,102	87	-	1,000	-	2,200	4.7
海外売上高営業利益率	-	-	1.5%	0.2%	-	1.4%	-	1.5%	-

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

連結業績概要(販管費・その他収益・その他費用)

(単位:百万円、%)

	2010年3月期		2011年3月期	
	第1四半期実績	第1四半期実績	対前年増減率	対前年増減額
《販管費》				
★① 販売費及び一般管理費	42,369	40,778	△ 3.8	△ 1,591
人件費	17,509	17,022	△ 2.8	△ 487
★② 広告宣伝費	3,206	2,342	△ 26.9	△ 864
★③ 物流費	8,520	8,872	4.1	352
その他	13,134	12,542	△ 4.5	△ 592

主な増減要因

- ★①販管費計 : 前年同期差約16億円減少。販管費率は、17.9%から17.1%と、0.8ポイント減少。
 ★②広告宣伝費 : TVCM、新聞広告料の減少等により、前年同期差約9億円減少。
 ★③物流費 : 販売数量の増加等により、前年同期差約4億円増加。

(単位:百万円、%)

《連結その他収益・その他費用》	2010年3月期		2011年3月期	
	第1四半期実績	第1四半期実績	対前年増減率	対前年増減額
その他収益合計	2,898	565	△ 80.5	△ 2,333
受取利益・配当金	261	205	△ 21.5	△ 56
為替差益	2,626	-	-	△ 2,626
その他	11	360	-	349

支払利息	537	559	4.1	22
その他費用合計	1,045	1,829	75.0	784
有価証券売却損・評価損	810	150	△ 81.5	△ 660
固定資産減損	66	36	△ 45.5	△ 30
★① 為替差損	-	1,563	-	1,563
その他	169	80	△ 52.7	△ 89

主な増減要因

- ★①その他費用 : 為替差損は主として海外子会社の円建て借入金換算差損。

連結業績概要(貸借対照表、設備投資額・減価償却費)

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》	2010年3月期 期末実績	2011年3月期 第1四半期実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	604,201	609,187	0.8	4,986
現金及び現金同等物	43,518	45,674	5.0	2,156
★① 売上債権	100,366	102,832	2.5	2,466
★② 棚卸資産	100,545	111,243	10.6	10,698
投資及びその他の資産	29,950	28,803	△ 3.8	△ 1,147
有形固定資産	227,081	223,614	△ 1.5	△ 3,467
長期繰延税金資産	15,617	15,777	1.0	160
負債合計	330,239	336,776	2.0	6,537
支払手形及び買掛金	84,124	92,580	10.1	8,456
★③ 有利子負債	187,585	184,336	△ 1.7	△ 3,249
退職金及び年金債務	16,128	15,980	△ 0.9	△ 148
当社株主資本	271,908	270,372	△ 0.6	△ 1,536
非支配持分	2,054	2,039	△ 0.7	△ 15
資本合計	273,962	272,411	△ 0.6	△ 1,551

主な増減要因

- ★①売上債権 : 季節変動要因により、前期末比約25億円増加。前年同期差では約11億円減少。
- ★②棚卸資産 : 季節変動要因により約107億円増加。前年同期差では約64億円減少。
- ★③有利子負債 : 長期借入金の約定返済等により、約32億円減少。

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2010年3月期	2011年3月期		2011年3月期 通期計画
	第1四半期実績	第1四半期実績	対前年増減率	
設備投資額	4,527	3,512	△ 22.4	△ 1,015
生産設備	1,976	1,656	△ 16.2	△ 320
販売・物流設備	536	447	△ 16.6	△ 89
ファーム・処理設備	591	677	14.6	86
海外事業設備	174	382	119.5	208
その他設備	1,250	350	△ 72.0	△ 900
減価償却費	5,746	5,872	2.2	126

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話:03-6748-8024
FAX:03-6748-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。